



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

患者支援センター

地域医療連携室ニュース



2020年 新年号

川崎幸病院 患者支援センター 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



新年明けましておめでとうございます



石心会グループ代表
社会医療法人財団 石心会 理事長
石井 暎禧

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は石心会グループの医療連携にご協力を賜り誠にありがとうございました。当法人グループは、高品質な地域医療サービスを目指し、地域住民の方々に必要とされる医療や福祉サービスを迅速かつ適切、永続的に提供するためさまざまな努力を重ねてまいりました。高齢化が進んだ社会においては、常に医療を必要とする人が増加し、医療の使命は一層重要なものとなってまいります。この状況を乗り越えるべく、今年も地域の先生方と共にチーム医療を提供していきたい所存でございます。

これからも患者さんの健康・福祉に貢献し、地域の先生方の期待と信頼に応えられるよう努めて参ります。

本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

本誌におきましては、川崎幸病院、さいわい鶴見病院、川崎幸クリニック、第二川崎幸クリニック、川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニック、新緑脳神経外科のご紹介をさせていただきます。





川崎幸病院

院長

山本 晋

川崎幸病院は法人理念である「患者主体・断らない」に徹底的にこだわり、求められる以上の医療を提供するための組織改革を進めています。現在の限られた病床数の中で病院の主軸を、

- 1: 川崎幸病院のidentityである脳心血管治療・がん治療
- 2: 地域で必要とされる泌尿器科・婦人科等の地域医療
- 3: 総合内科・救急医療を基礎とする医療者教育と定め、地域のニーズに答えつつも世界的レベルの医療を展開し、将来の有能な医療人を輩出するという使命を川崎幸病院は担い続けていきます。

<http://saiwaihp.jp/>



神奈川県川崎市大宮町31-27
TEL044-544-4611(代)

診療科

内科／腎臓内科／消化器内科／循環器内科／
心臓外科／外科／消化器外科／乳腺外科／
整形外科／関節外科／脳神経外科／脳血管内
治療科／泌尿器科／大動脈外科／婦人科／
形成外科／呼吸器外科／放射線治療科／
放射線診断科／病理科／救急科／感染制御科

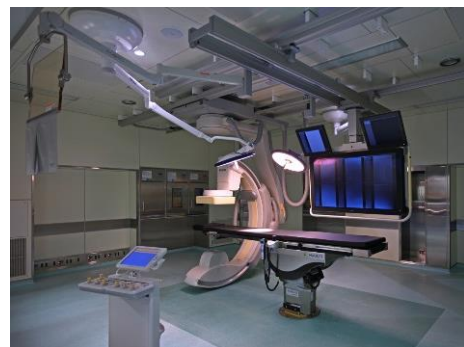
川崎幸病院 2018年実績

■ 救急車受入台数：10,148台

■ ドクターカー出動件数：314台



■ 救急外来受診患者数：18,959人



■ 手術件数：5,364件

■ 緊急手術件数：1,006件

■ 入院患者数：11,107人

心臓病センター 実績

■ 総手術件数：246例

<内訳>

開心術：201例

その他の手術：45例

* 2019年4月1日から11月30日

■ TAVI実施件数: 56件※2019年4月1日～12月31日

■ 冠動脈カテーテル検査(CAG)：1,663件

■ うち)冠動脈カテーテル手術(PCI)：581件

■ うち)緊急PCI: 84件

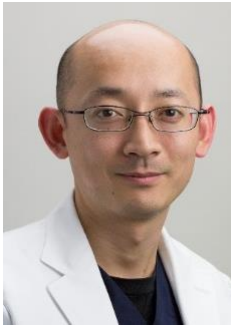
※2018年度



脳血管センター

※当院は日本脳卒中学会より一次脳卒中センター(Primary Stroke Center)に認定されました。

脳神経外科部長／脳血管センター長 壺井 祥史



当センターは常勤の日本脳神経外科学会専門医5名を含む全6名体制で、脳血管障害の内科的治療、血管内治療および直達手術による外科的治療を行っています。特に急性期脳梗塞に対しては、より迅速で適正な検査により治療開始までの時間を短縮することでt-PA投与適応患者、血管内治療による血栓除去術、血管形成術適応患者さんの増加を認めています。

社会の高齢化に伴い脳血管障害疾患が増加しています。私たちは、同疾患に対し先進医療を含めた超急性期医療の提供を24時間365日可能にし、脳血管障害患者さんのより良い機能予後、社会復帰に貢献していきたいと考えています。

※日本脳卒中学会では、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が患者搬入後可及的速やかに診療(rt-PA静注療法を含む)を開始し、脳神経外科的処置や血栓回収療法が行える施設を「一次脳卒中センター」に認定しています。

スタッフ

壺井 祥史 脳神経外科部長／脳血管センター長
 神林 智作 脳神経外科主任部長
 長崎 弘和 脳神経外科副部長
 成清 道久 脳神経外科医長
 大橋 聡 脳神経外科医長
 縄手 祥平 脳神経外科医員

脳卒中ホットライン・脳外科ドクターカー

当センターでは脳神経外科専門医が24時間365日体制で常駐し、救急隊からのホットラインに迅速に対応し、開頭手術・脳血管内治療の両方が常に可能な体制をとっています。また、脳外科ドクターカーも運用しており、出勤機会も徐々に増加しています。医療連携をより強固にして急性期脳血管障害に迅速に対処していきたいと思ひます。



脳卒中ホットライン

☎ : 090-2407-9027

t-PA投与(血栓溶解療法)について

当院では少しでも多くの患者さんにt-PAを投与できるように、血液検査、画像検査を迅速に行うプロトコールを作成し、来院から20～30分でt-PA投与を行っています。

さらにt-PA投与後すぐに血管撮影室に移動し血栓回収療法を行うことが可能で、来院から60～90分で血管の再開通が得られるような体制を整えています。このことにより従来よりも大幅に治療成績を向上させることができます。

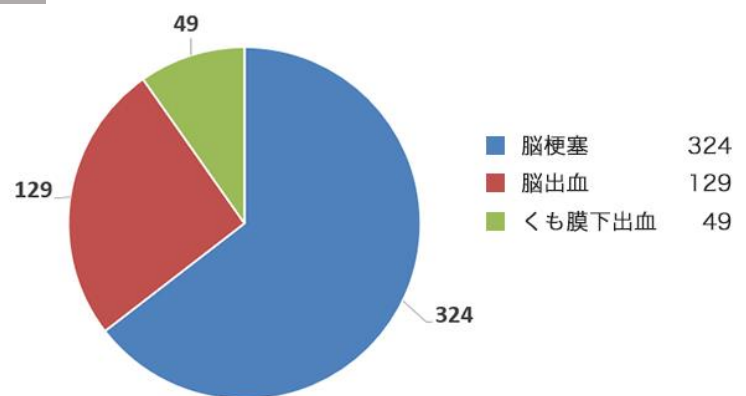
脳梗塞治療実績(2018年)

脳梗塞	324
内 t-PA投与	31
内 血栓回収治療	50

手術件数推移 (2016年～2018年)

	2016年	2017年	2018年
脳動脈瘤クリッピング	38	34	37
(破裂)	(11)	(6)	(17)
(未破裂)	(27)	(28)	(20)
開頭血腫除去術	31	36	50
脳脊髄腫瘍	13	16	16
脳動静脈奇形	4	1	2
バイパス術	12	10	13
脊髄脊椎疾患	2	4	6
慢性硬膜下血腫(穿頭血腫除去術)	57	56	71
シャント術	22	21	35
MVD(微小血管減圧術)	1	4	2
内視鏡下血腫除去術	8	10	6
その他手術※	50	59	56
血管内手術	170	165	154
(コイル塞栓術)	(73)	(57)	52
(脳閉塞血管障害)	(98)	(108)	94
(内 stent症例)	(51)	(52)	47
合計	408	416	448

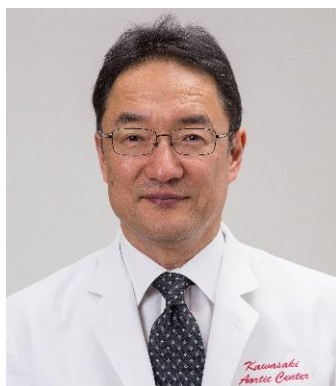
急性期脳卒中入院患者の内訳(2018年)





川崎大動脈センター

院長／川崎大動脈センター長 山本 晋



川崎大動脈センターは、国内最多の手術症例と治療実績をもつ、国内唯一の大動脈疾患治療の専門施設です。

主な診療対象は大動脈瘤・大動脈解離であり、胸部大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤、急性大動脈解離を中心とし、また、高齢者や臓器合併症を合わせ持つ重症症例を積極的に扱い、良好な成績を上げています。紹介患者の増加に伴い、いままでhighriskと考えられていた患者が増加傾向にあります。重度の合併症を持たれている患者、超高齢者、再手術あるいは再々手術例、ステント留置後の動脈瘤拡大例、切迫破裂や破裂例などです。この傾向は、今までは手術不可能と診断されていたcaseが、手術可能であるとの再認識により、私どもに紹介されるようになったと考えています。

スタッフ

山本 晋 院長／川崎大動脈センター長

大島 晋 大動脈外科部長／川崎大動脈センター・副センター長

《大動脈外科》

尾崎 健介 大動脈外科副部長
 櫻井 茂 大動脈外科医長
 平井 雄喜 大動脈外科医員
 広上 智宏 大動脈外科医員
 栃木 秀一 大動脈外科医員
 沖山 信 大動脈外科医員
 糸原 孝明 大動脈外科医員
 坪 宏一 非常勤医師
 持田 勇希 非常勤医師

《血管内治療科》

中川 達生 大動脈外科副部長
 長谷 聡一郎 血管内治療科医員
 鹿島 正隆 血管内治療科医員

ドクターカーについて

当センターの大きな特徴として、紹介元病院まで当センター医師が同乗し患者をお迎えに上がるドクターカーシステムがあります。病院到着から手術開始まで全国平均では8時間要しているところ、当院では、ドクターカーシステムにより、病院到着から平均1.9時間で手術開始が可能となっています。

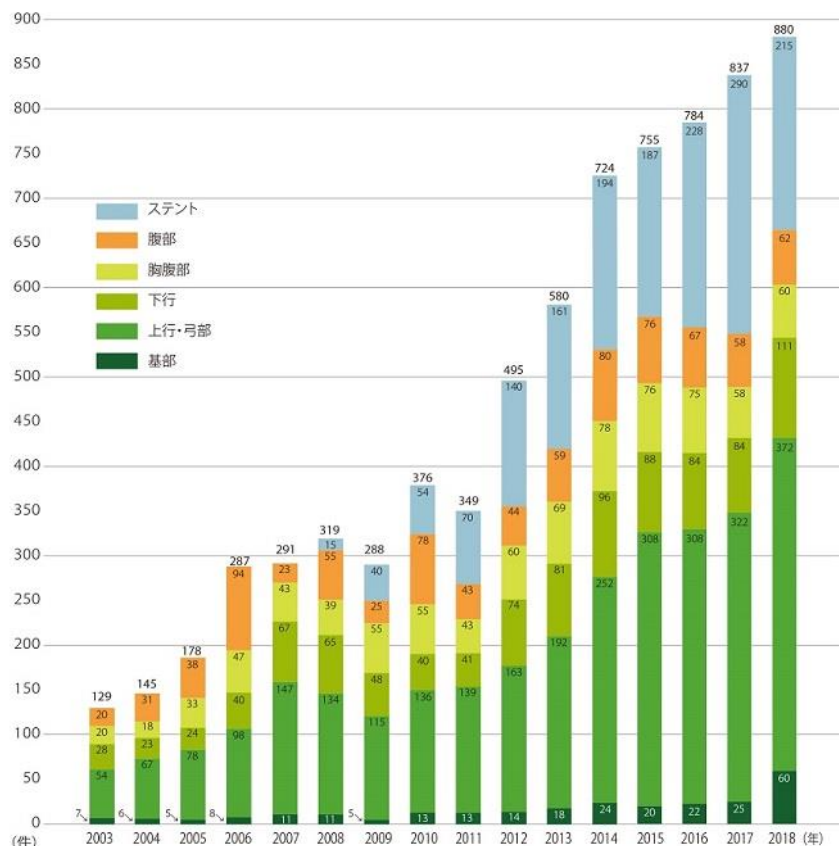
ドクターカーは2012年1月より開始し、年々出動件数・症例数も増加しており、2018年は267回の出動となっています。

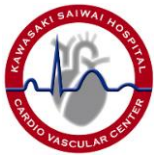
大動脈疾患は専門病院での治療が必要です。
 大動脈疾患の最後の砦として、
 今後も治療成績の向上に努めていきます。

累計手術件数(1998年～2019年11月現在)

8,603件

実績





心臓病センター 心臓外科

副院長／心臓外科主任部長／心臓病センター長 高梨 秀一郎



心臓疾患の手術実績を持つチームの心臓外科手術が、2019年4月からスタートしました。4月から11月までの総手術件数は246例で、そのうち開心術は201例でした。すべての手術は、手術検討会で方針が決定され、心臓病センターの循環器内科医師や看護師、コメディカルと協力して治療にあたっています。心臓の病気は、心臓外科だけで治療ができるわけではなく、心臓外科と循環器内科が一体化することで、高い医療レベルの治療を提供することができます。「心臓の手術をしたら、仕事を辞めなくてはいけない・・・」「もう運動は控えてはいけない・・・」と悩んでいる方も多くいらっしゃいますが、決してそうではありません。

今まで以上に心臓の機能を向上させるのが手術です。

手術前より元気になりたい方、これから自分でやりたいことがある方には、治療をおすすめしています。心臓病センターでは、ドクターカーの運用により搬送も可能であり、迅速に治療にあたる体制を整えています。他の医療機関と緊密な連携のもと患者さんに最適な治療を提供しています。

スタッフ

高梨 秀一郎	副院長／心臓外科主任部長 心臓病センター長
内室 智也	心臓外科部長
吉尾 敬秀	心臓外科
和田 賢二	心臓外科
熊谷 和也	心臓外科
小椋 弘樹	心臓外科



心臓外科の特色

- ① ハイリスク、超高齢者、再手術などの困難症例に対する手術にも対応しています。
- ② 傷が気になる若い方、高齢者にも優しい低侵襲心臓手術を行なっています。
- ③ 難易度の高い治療法も積極的行なっています。
 - 重症肥大型心筋症に対する広範囲心筋切除術、左室形成術
 - 狭心症や心筋梗塞に対する難易度の高い冠動脈バイパス術
 - ◇ びまん性狭窄病変に対してのOnlayパッチ吻合を用いた手法
 - ◇ 心臓の動きを止めないオフポンプ術を積極的に施行
 - 弁膜症に対する心臓外科手術
 - ◇ 増幅弁閉鎖不全症に対する弁形成術
 - ◇ 大動脈弁閉鎖不全症に対する弁形成術
 - ◇ 大動脈弁狭窄症、高齢者ハイリスク大動脈弁狭窄症に対する弁置換術及び経カテーテル的弁移植術

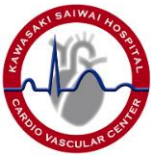
心臓外科の治療

- 心臓弁膜症に対する弁形成術・弁置換術
- 狭心症、心筋梗塞に対する冠動脈バイパス術
- 肥大型心筋症に対する心筋症に対する心筋切除術
- 成人先天性心疾患に対する心内修復術
- 心臓腫瘍に対する腫瘍摘出術
- その他の心疾患治療

心臓外科の外来

第二川崎幸クリニックで外来を行っています。いつでもご相談ください。
(電話予約センター:044-511-2112)

	月	火	水	木	金
午前	-	-	高梨	吉尾・和田	内室
午後	高梨	-	-	-	-



心臓病センター 循環器内科

循環器内科主任部長／心臓病センター・副センター長 桃原 哲也



昨年、榊原記念病院から赴任しました桃原哲也(トウバル テツヤ)と申します。

当院は、2019年4月よりハイブリッド手術室(Hybrid OR)でTAVI(経カテーテル大動脈弁植え込み術)を開始しました。これによって、特に高齢者の方の重症大動脈狭窄症に対してもより低侵襲で質の高い医療を提供できるようになりました。今後は大動脈弁以外の弁、特に僧帽弁に対するカテーテルによるクリップ術や脳梗塞の予防となる左心耳に対するカテーテルによる閉鎖術なども実施できるように進めて行きたいと考えています。

現状カテーテル室は2室あり、現在フル稼働で検査や治療を行っております。PCIの分野では新たにDCA(方向性粥腫切除術)を開始しており、前下行枝の近位部病変に対してはステントを使用しない治療を積極的に行っております。また、高度石灰化病変に関しましてはロータブレードを使用した治療を行っていましたが、4月からは、ダイヤモンドバックを用いた治療を開始しており治療の幅が広がっております。また、不整脈に対する根治治療であるカテーテルアブレーション治療(電氣的焼灼術)を積極的に行っており、ペースメーカーなどによる治療と併せ、不整脈の種類を問わず、最適な治療を提供できる体制を整えています。

今後は、IMPELLAという心原性ショックに対する最新の循環補助装置を導入する計画であり、循環器領域の最重症であるショック状態に陥った方にも対応できるようになります。

以上のように新しい技術を取り入れつつ、心臓病センターとして心臓外科医や他の職種と”ハートチーム”を形成し地域の方々に対して貢献できるように鋭意努力して参ります。

宜しくお願いいたします。

スタッフ

桃原 哲也	循環器内科主任部長／心臓病センター・副センター長
福永 博	循環器内科副部長
伊藤 賀敏	循環器内科副部長
川上 徹	循環器内科副部長／不整脈部門部門長
羽鳥 慶	循環器内科副部長
高橋 英雄	循環器内科医長
齋藤 直樹	循環器内科医長
佐々木 法常	循環器内科医員
和田 真弥	シニアレジデント
飛鳥井 邑	シニアレジデント
長尾 建	心臓病センター・顧問



治療実績

	2018年
冠動脈カテーテル検査(CAG)	1,662
うち)冠動脈カテーテル手術(PCI)	611
うち)緊急PCI	138
末梢血管治療(EVT)	58
ペースメーカー植え込み術	48
植え込み型除細動器(ICD)	14
心臓再同期療法(CRT)	54

※2018年1月～12月の実績

アブレーション治療

	2016年度	2017年度	2018年度
カテーテルアブレーション	219	270	284
うち)心房細動	154	199	227

TAVI実施件数

56件※2019年4月1日～12月31日



救急センター

救急科部長／救急センター長 鶴和 幹浩



2019年6月より当院7つ目のセンターが誕生しました。救急センターは北米型ERスタイルでの診療を行っています。24時間体制で各科専門医と協力し、年間1万台を超える救急車を受け入れています。

ERとはEmergency Room(救急室)ですが、最高のEducational Resources(教育資源)であり、また病院の顔、Entrance Room(玄関)でもあります。今まで以上に安全で確実な地域医療連携を構築します。どうぞ、お気軽にご相談ください。

スタッフ

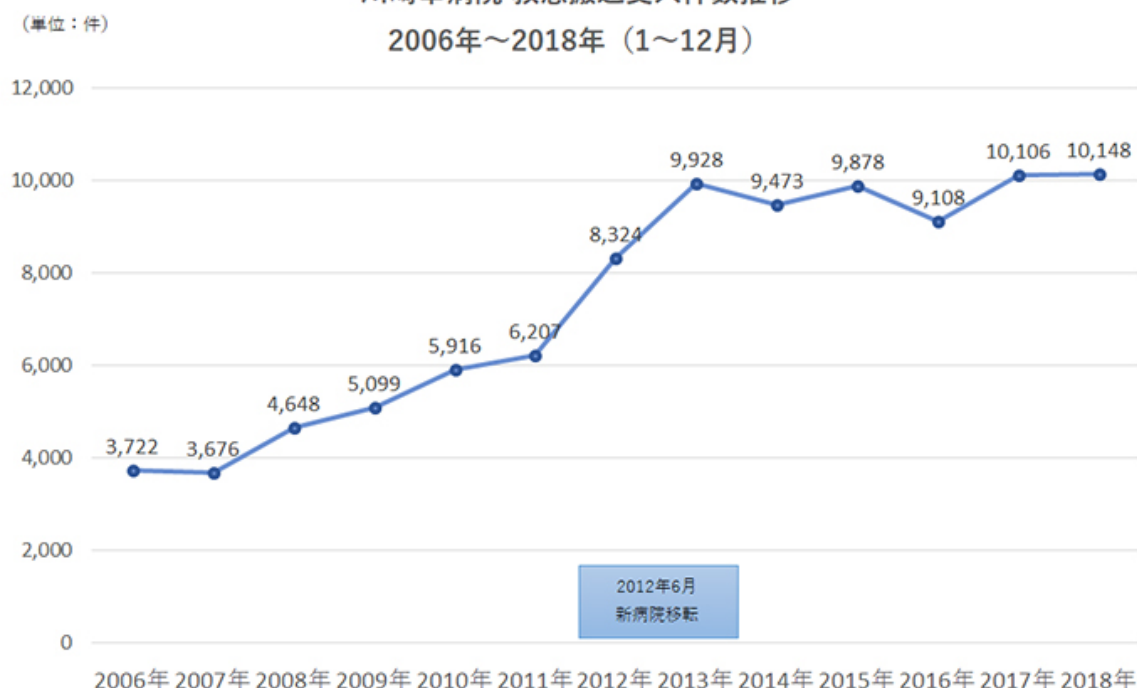
鶴和 幹浩 救急科部長／救急センター長
宮司 正道 救急科副部長
伊藤 麗 救急科医長



救急診療実績 2018年(1月～12月)

救急外来受診患者数 (人／年)	18,959	
(人／日)	51.9	
うち 救急車搬送件数 (件／年)	10,148	(53.5%)
うち Dr. Car出動 (件／年)	314	(1.7%)
うち 独歩来院患者数 (人／年)	8,494	(44.8%)
入院患者数 (人／年)	11,107	
緊急入院患者数 (人／年)	4,159	(37.4%)
手術件数 (件／年)	5,364	
緊急手術件数 (件／年)	1,006	(18.8%)

川崎幸病院 救急搬送受入件数推移
2006年～2018年(1～12月)





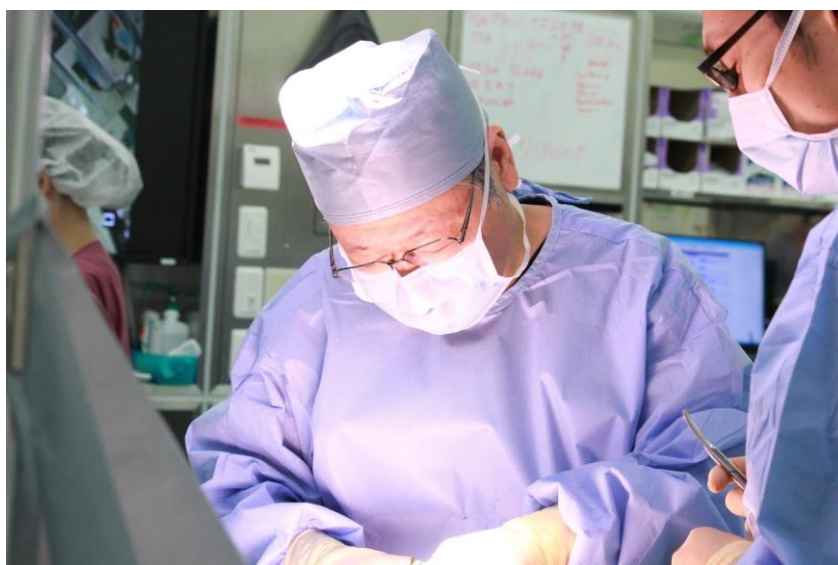
昨年4月に開設された新しい診療科ですので実績として掲載するデータはまだ少数です。しかし、前々任の滋賀医科大学附属病院では年間200件前後、前任の帝京大学附属溝口病院では年間100件前後の手術を担当してきました。対象疾患は多種類に及び、一般的な呼吸器外科では対応困難な胸郭変形（漏斗胸、鳩胸）、多汗症などにも対応可能です。全体の8割は胸腔鏡（補助下）手術ですが、安全性と確実性を最優先に考え、胸腔鏡手術に拘泥することがないようにしています。当科独自の手術として「触診を併用した内視鏡手術HATS（Hand Assisted Thoracoscopic Surgery）」が挙げられます。転移性肺がんなどのように両肺に複数の病変を有する患者さんに対して、みぞ落ちを縦に8cmほど切開し、片手を挿入し左右の肺を触診する方法です。触診で確認した病巣は2cm程度の傷であけたポートから挿入した器具でモニターを観察しながら確実に切除します。左右同時に可能であり画像で確認した腫瘍を取り残す危険性がなくなります。また術前画像では指摘されなかった病変を蝕知し切除することもしばしばあります。

呼吸器外科が扱う主な病気

原発性肺がん、転移性肺がん、気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜中皮腫、胸郭変形（漏斗胸、鳩胸）、多汗症など。

手術実績

	2019年4月1日～10月31日
胸腔鏡下肺切除術 気胸や良性肺疾患に対する内視鏡手術	16
肺悪性腫瘍手術 肺がん・転移性肺腫瘍に対する開胸手術	4
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺がん・転移性肺腫瘍に対する内視鏡	13
合計	33





外科

副院長／診療部部長／外科部長 後藤 学



川崎幸病院外科は現在14名体制（日本外科学会指導医・専門医、消化器外科学会指導医・専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、マンモグラフィー読影認定医、後期研修医など）で消化器腫瘍外科・内視鏡外科・腹部救急外科・乳腺外科を4本柱とし外科全般の業務を日夜行っております。特に消化器疾患は消化器内科医師と連携し2007年に設立した消化器病センターにおいて消化器内科と消化器外科の密な連携と検討会などを通して 急性期疾患および消化器外科疾患全般に対して昼夜を問わない診療を提供しております。

2018年は1145例に対して手術を施行、その中で鏡視下手術が600例と半数を占めており患者さんの立場に立った低侵襲手術の積極的な提供を行っているのが当科の特徴です。

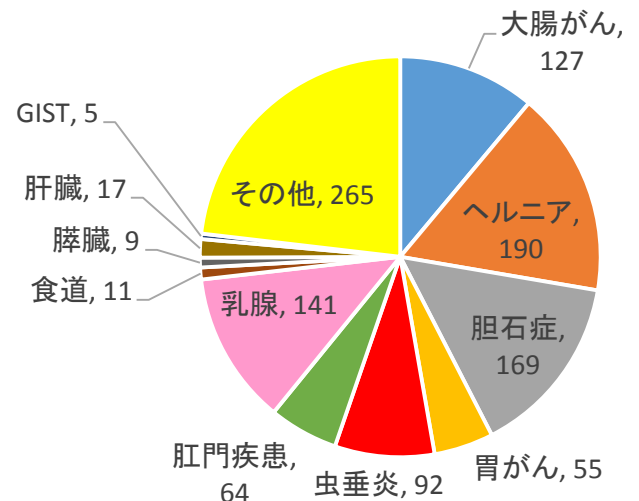
スタッフ

後藤 学	副院長／診療部部長／外科部長
日月 裕司	副院長／外科主任部長／がん治療センター長／臨床研修部長
成田 和広	外科部長代行
原 義明	外科副部長
下島 礼子	外科医長
小根山 正貴	外科医長
伊藤 慎吾	外科医長
網木 学	外科医長
石山 泰寛	外科医員
左近 龍太	外科医員
富澤 悠貴	シニアレジデント
杉山 敦彦	シニアレジデント
木村 芙英	乳腺外科副部長／第二川崎幸クリニック担当
中村 幸子	乳腺外科医員／第二川崎幸クリニック担当

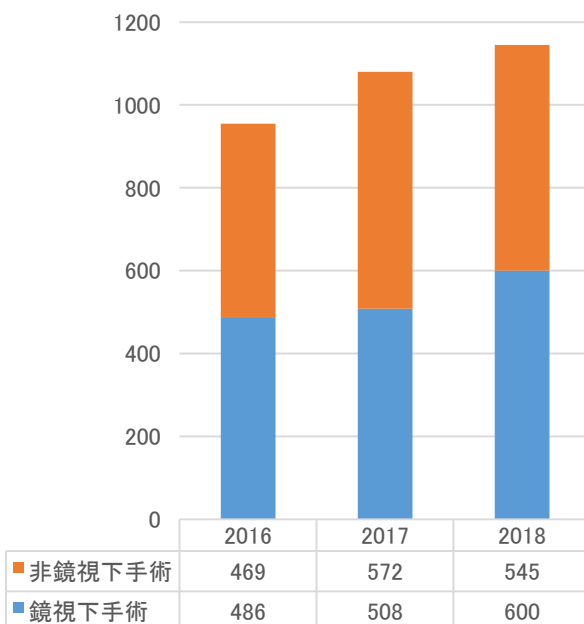


実績

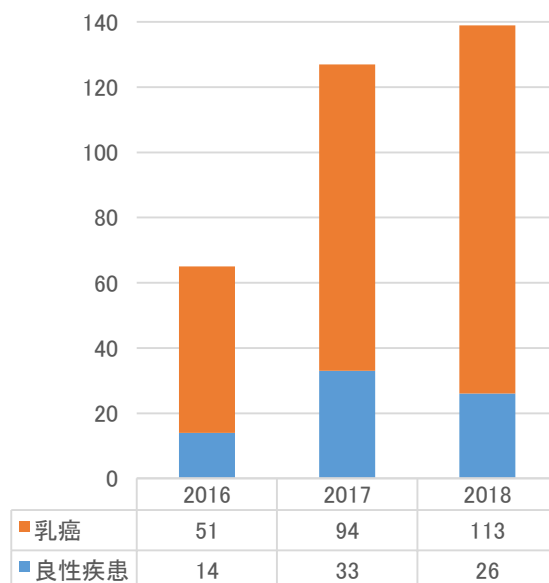
2018年手術件数内訳(全1145件)

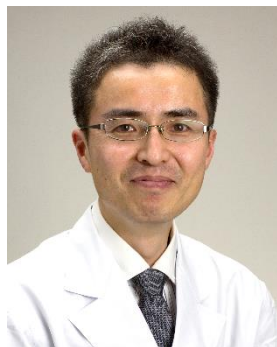


総手術件数と鏡視下手術 年次推移



乳腺手術件数年次推移





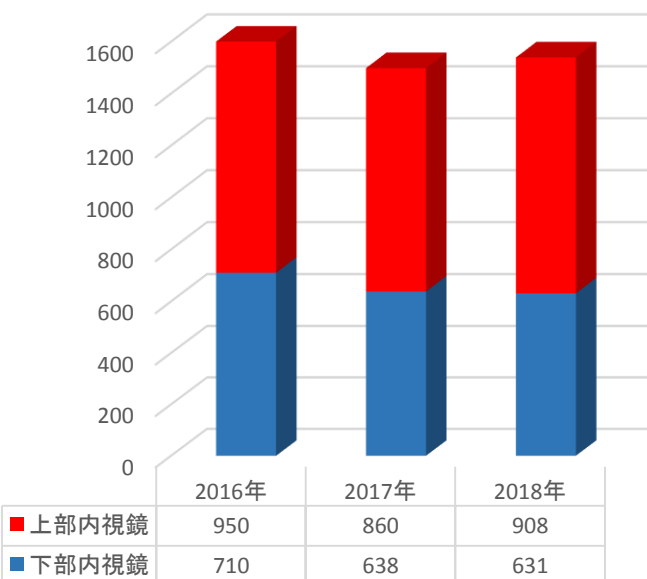
消化器内科は消化器急性疾患に対する24時間対応と消化器全般に関する高度専門医療の提供を2本柱として診療を行っており、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本消化管学会、日本肝臓学会等の各分野における専門医が在籍しています。消化器急性疾患に対しては、医師・看護師・技師がチームとなり、24時間緊急内視鏡検査を安全に行える体制をとり、消化管出血患者を積極的に受け入れています。高度専門医療の提供については、今後も増加していくと思われる悪性腫瘍に対する診断・治療には、特に力を入れ、専門的な内視鏡診断・治療で地域医療に貢献出来るように日々診療しております。

スタッフ

大前 芳男	消化器内科部長／内視鏡センター長／ がん治療センター副センター長
設楽 雅人	内視鏡室室長／川崎幸クリニック担当
高畑 彩子	消化器内科医長／第二川崎幸クリニック担当
谷口 文崇	消化器内科医長
塚本 啓祐	消化器内科医長
森重 健二郎	消化器内科医長
堀野 誠	消化器内科医長
岡本 法奈	消化器内科医員
栗田 裕治	シニアレジデント



オープン検査件数年次推移



実績

	2016年	2017年	2018年
上部内視鏡検査	4,233	4,331	4,380
ESD/EMR	115	116	132
内視鏡的止血術	152	169	179
下部内視鏡検査	3,675	3,656	3,668
EMR/ポリペクトミー	973	944	940
大腸ESD	54	62	55
ERCP	407	451	455
総胆管結石除去術	339	276	294
内視鏡的胆道ドレナージ	198	262	254

悪性腫瘍に対する診断・治療に特に力を入れ、高度専門医療を提供します

消化管領域

早期癌に対して、狭帯域光観察(NBI)や拡大内視鏡を用いた拡大観察により正確な診断を行い、以前は手術を行っていた大きな病変に対しても、内視鏡的粘膜下層剥離術で低侵襲な内視鏡治療を行っております。

胆道癌

ERCP(内視鏡的胆管膵管造影検査)やEUS(超音波内視鏡検査)により診断し、癌の浸潤により閉塞性黄疸を生じた場合には、内視鏡的胆道ドレナージを行っております。

膵癌

手術適応のない場合超音波内視鏡を用いて穿刺針生検を行い、病理診断をしてから化学療法を行います。



当科は現在常勤6名体制で第二川崎幸クリニック、さいわい鹿島田クリニックでの外来診療および川崎幸病院での入院治療を行っています。

当科は低侵襲治療を診療の基本にしています。前立腺肥大症に対してはレーザーを用いた前立腺核出術(HoLEP)、症例によっては、負担の少ない接触式レーザー前立腺蒸散術(CVP)を行っています。尿路結石症に対しては体外衝撃波結石破碎術(ESWL)及び軟性腎盂尿管鏡を用いた経尿道的レーザー結石破碎術(f-TUL)の両治療を行っています。腹圧性尿失禁の手術治療として中部尿道スリング術(TVT)を行っています。また悪性腫瘍についても、手術を最小限の創で行う低侵襲治療を基本におき、可能な限りQOLを低下させずに、その患者さんにとって最適な治療を提供しています。

スタッフ

鈴木 理仁	泌尿器科部長／泌尿器内視鏡治療センター長
善山 徳俊	泌尿器科医長
小磯 泰裕	泌尿器科医員
岩本 れい美	泌尿器科医員
中島 陽太	泌尿器科医員
林 哲夫	泌尿器科顧問

尿路結石症に対する低侵襲治療

ESWL(体外衝撃波結石破碎術)と軟性ビデオスコープを用いたf-TUL(経尿道的結石破碎術)の両治療により、緊急を含めすべての部位の尿路結石症に対応可能となっています。いずれも体に創をつけることなく、低侵襲な治療が可能です。症例によって、日帰り治療または短期間の入院で治療は可能です。

CVP(接触式レーザー前立腺蒸散術)

前立腺組織にレーザー光を照射することで前立腺組織を気化して消失させてしまう(蒸散)最新式の低侵襲手術です。レーザーの特徴である、出血量が少なく、抗血栓薬を内服したままでも手術が可能です。手術時間1時間程度で短く、短期入院(4~5日)で治療可能などのメリットがあります。痛みも少なく、頻尿も改善します。

低侵襲を基本においた手術治療

悪性腫瘍の手術についても、可能な限り小さな創で行う低侵襲治療を基本にしています。当院においては、本年から腹腔鏡手術も可能となり、腎、膀胱に対して手術を行っています。また、膀胱については腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術も可能となりました。

患者さん一人ひとりの年齢・生活スタイル・治療に求めること・人生観などに合わせて、可能な限り患者さんのQOLを低下させずに、その患者さんにとって最適な治療を提供しています。



実績

				2016年	2017年	2018年
腎	腎癌	根治的腎摘除術	開放手術	4	8	15
			腹腔鏡下	－	－	14
			腹腔鏡補助下小切開	9	3	0
		腎部分切除	開放手術	－	－	2
			腹腔鏡補助下小切開	4	5	0
	良性疾患	腎摘除術	開放手術	0	3	1
腎盂尿管	腎盂・尿管癌	腎尿管全摘除術	開放手術	1	5	1
			腹腔鏡下	－	－	2
			腹腔鏡補助下小切開	2	0	0
	尿管狭窄	経尿道的ステント留置術		142	161	154
尿管拡張術		8	1	1		
膀胱	膀胱癌	膀胱全摘＋尿路変更	回腸導管	4	3	4
			尿管皮膚瘻	1	0	1
		経尿道的膀胱腫瘍切除術		117	118	125
	膀胱癌・その他	膀胱部分切除術		0	0	1
	尿管	尿管摘除術		0	0	1
前立腺	前立腺癌	根治的前立腺全摘除術	開放手術	2	5	30
			腹腔鏡補助下小切開	10	4	0
	前立腺肥大症	被膜下前立腺摘除術		0	2	0
		経尿道的前立腺切除術		0	12	20
精巣	精巣腫瘍	高位精巣摘除術		1	3	11
	その他	除睾術		7	5	4
その他	結石	経尿道的尿管碎石術(尿管結石・尿路結石)		31	49	97
		膀胱結石		10	9	9
		体外衝撃的碎石術(ESWL)		54	67	40
	その他腫瘍	後腹膜腫瘍切除術		0	1	1
	その他			49	33	72
総手術件数				472	513	638



婦人科

婦人科部長 長谷川 明俊



当院婦人科は、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本婦人科腫瘍専門医が中心となって手術を行っています。特に腹腔鏡手術を得意とし、開腹手術と比べ美容的な面はもちろんのこと、痛みは少なく、入院期間は短く、社会復帰が早いのが特徴です。

良性の疾患に対しては100%近くが腹腔鏡手術で治療しています。安全に確実な手術が可能と診断できれば通常の傷よりもさらに小さな傷で手術を行っています。悪性の疾患に対しても安全で根治性が見込まれれば、腹腔鏡手術で治療しています。また開腹手術の方が適している場合も日本婦人科腫瘍専門医が中心となっており、手術後も科学的根拠に基づいた集学的な治療を提供しています。

当院は日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設(B施設)などの施設認定を取得しており、常に最新・最善な治療を行っています

スタッフ

長谷川 明俊	婦人科部長
黒田 浩	婦人科医長
岩崎 真一	婦人科医長
新城 梓	婦人科医長
齋藤 朋子	婦人科医員
佐古 悠輔	婦人科医員
大伴 里沙	婦人科医員／第二川崎幸クリニック担当

骨盤臓器脱(子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤)に対する腹腔鏡手術について

当院では、2014年より保険適応となった、体に負担が少なく、再発率が少ない新たな治療法「腹腔鏡下仙骨脛固定術」を実施しております。

「腹腔鏡下仙骨脛固定術」は脛の壁をメッシュで釣り上げ、仙骨に固定する術式です。お腹を大きく切らずに穴だけを開けて行う手術です。



低侵襲で先進的な医療を提供します

当科は婦人科腫瘍専門医、内視鏡技術認定医が中心となり、安全で完成度の高い低侵襲な内視鏡手術を積極的に行っています。

対象疾患としては、子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症などの良性疾患が主な適応ですが、子宮体がんや子宮頸がんなどの悪性腫瘍でも安全性、根治性が高い場合は内視鏡手術を検討します。また、当院は厚生労働省認定先進医療である子宮頸がんに対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術の施設認定を取得しています。

手術件数 内訳		2016年 度	2017年 度	2018年 度
		(4月～ 3月)	(4月～ 3月)	(4月～ 3月)
開腹手術	悪性腫瘍手術	28	30	32
	骨盤臓器除臓術	1	0	0
	子宮全摘術(良性)	1	0	1
	子宮筋腫核出術	0	1	0
	卵巣腫瘍(良性)	2	2	0
	その他	1	0	0
腹腔鏡手術 (同一症例で重 複あり)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍 手術	0	9	9
	(子宮体がん)			
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍 手術	0	0	5
	(子宮頸がん)			
	腹腔鏡下広汎子宮全摘 術	3	4	1
	(子宮頸がん)			
	腹腔鏡下境界悪性卵巣 手術	1	0	0
	子宮全摘	72	95	99
	子宮筋腫核出術	38	38	45
	良性卵巣腫瘍			
	(子宮内膜症性卵巣囊 腫は除く)	66	83	102
	子宮内膜症手術	36	48	39
	子宮外妊娠	4	7	3
	子宮脱のメッシュ手術 (腹腔鏡下仙骨脛固定 術)	6	26	17
子宮鏡手術	腹腔鏡下試験開腹術	0	2	0
	その他	1	3	6
	子宮鏡下子宮筋腫摘出 術	0	7	7
	子宮鏡下有茎粘膜下筋 腫切出術、 子宮内膜ポリープ切除 術	0	15	51
腔式手術	円錐切除	19	28	31
	その他	14	26	36
その他		6	4	2
総手術件数		300	428	486



形成外科 形成外科部長／

第二川崎幸クリニック形成外科・美容外科センター長 佐藤 兼重



形成外科は常勤医2名で、入院手術を川崎幸病院で、外来診療と日帰り手術を第二川崎幸クリニックで行っています。

対象疾患は、顔面を中心とした体表の皮膚・皮下軟部組織腫瘍の切除術を多数行っています。また外傷では頬骨、眼窩底、上顎骨・下顎骨、鼻骨などの顔面骨骨折の治療を多く行っています。手足の外傷では縫合処置や皮膚移植などを必要とするものもあります。

また中年以降から高齢者に好発する眼瞼下垂（瞼が開きにくい）の症例もかなり増加し、通常は2泊3日の局所麻酔入院加療で対処しています。糖尿病、腎疾患、循環器疾患の長期症例では褥瘡などの皮膚難治性潰瘍や四肢末梢血管閉塞に基づく四肢末梢の難治性潰瘍や壊死病変が多発しますので、創傷治癒の遅延や壊死の進行を予防するための下肢救済手術を多数行っています。

また、当院では顔面の諸々の変形への積極的な外科手術や傷痕の出来る限りの修正手術も心がけています。

スタッフ

佐藤 兼重 形成外科部長／形成外科・美容外科センター長
金 佑吏 形成外科医員
石井 麻衣子 非常勤



実績(2018年度)

総入院手術件数: 179件(内、全身麻酔127件、局所麻酔52件)
日帰り手術293件、Qスイッチルビーレーザー・その他108件

形成外科診療

2019年3月までの1年間で179件の入院手術(うち全身麻酔127件、局所麻酔52件)、293件の日帰り手術を行いました。体表の皮膚腫瘍は良性がほとんどですが、悪性の腫瘍も時にあり、切除後に植皮術や皮弁形成術の治療を行っています。その他には顔面神経麻痺後の顔面形成術や顔面骨の変形に対する上顎骨や下顎骨の骨切り手術を施行してきました。また外科系手術後や外傷後に治癒の遅延している創傷や治癒の遷延化した慢性皮膚潰瘍に対して持続陰圧閉鎖療法(VAC)を併用した創傷外科(きず)治療を積極的に進めております。体表の創(きず)はできるだけ速やかに創閉鎖されるような治療を心がけております。さらに乳腺外科の充実に伴い、乳癌摘出後の乳房再建手術も多く行われています。

また2018年に日本形成外科学会認定の研修施設認定病院となり、後期研修医を受け入れ可能となり研修施設となりました。そして千葉大学附属病院形成外科の連携施設として機能し非常勤医師の支援を受け、形成外科の川崎地区近隣の地域医療を推進しています。

美容外科センター

美容外科センターではQスイッチルビーレーザーが活用され、顔を中心としたシミの治療を多数行っておりますが、シミの治療はレーザー照射のみではなく、その他の多面的なケアを行っています。それ以外の美容外科手術は増加傾向で、二重瞼、鼻整形、頬の引き上げ手術、ヒアルロン酸注入、ボトックス注射などもおこなっております。簡便な脂肪吸引や脂肪注入手術によって顔面の凹凸を治療することもあります。その他顔面輪郭修正治療希望の多くの患者さんの顔全体のバランスを考えた治療のカウンセリングを多く行います。

形成外科・美容外科は2名の常勤医体制で診療を進めます。



腎臓内科では尿タンパクなどの検尿異常から国民病ともいえる慢性腎臓病まで幅広く診療にあたっています。腎臓病をきたす疾患は慢性腎炎、高血圧、糖尿病や膠原病など多岐にわたり総合的かつ集約的な治療を行っています。
透析などの血液浄化療法も積極的に行いアクセスのトラブルにも随時対応しています。

スタッフ

宇田 晋	腎臓内科部長
小向 大輔	腎臓内科副部長
柏葉 裕	腎臓内科医員
山田 英行	腎臓内科医員
下里 誠司	腎臓内科医員



実績

透析導入

	2016年度	2017年度	2018年度
HD導入	61	51	53
CAPD導入	9	9	20

腎生検査:27件

IgA腎症、膜性腎症、微小変化型ネフローゼ症候群、半月体形成性腎炎、良性腎硬化症、ファブリ病、ループス腎炎、紫斑病性腎炎 など

治療実績

	2016年度	2017年度	2018年度
バスキュラーアクセス造設術	76	56	63
シャントPTA	40	35	40
透析長期留置カテーテル挿入	18	11	18
腹腔鏡下腹膜透析カテーテル挿入	10	12	19

慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病

- 腎生検を行って確定診断し、適切な治療法を選択します。
- IgA腎症には扁桃腺摘出術に加え、副腎皮質ステロイドのパルス療法を行います。
- 頻回再発型、ステロイド依存性特発性ネフローゼ症候群の患者さんに対して状況によりリツキシマブ投与を行うこともできます。
- 腎のみならず心血管病のスクリーニングも行います。
- 推算GFRが予想以上に低値と思われる患者さんには外来で「イヌリンクリアランス測定」を行うことにより、「真の」GFRを測定することができます。

右記のような患者さんをご紹介します

当科に患者さんをご紹介いただく際の、一つの目安としてお考えください。先生方からのご紹介に対して迅速に対応させていただきます。
今後ともよろしくお願い致します。

- ① 0.50g/gクレアチニン 以上、2+以上の蛋白尿
- ② 蛋白尿と血尿がともに陽性(1+以上)
- ③ 推算GFR<50mL/分/1.73m²
- ④ 血圧のコントロールが付きにくい
- ⑤ 腎機能が次第に悪くなる



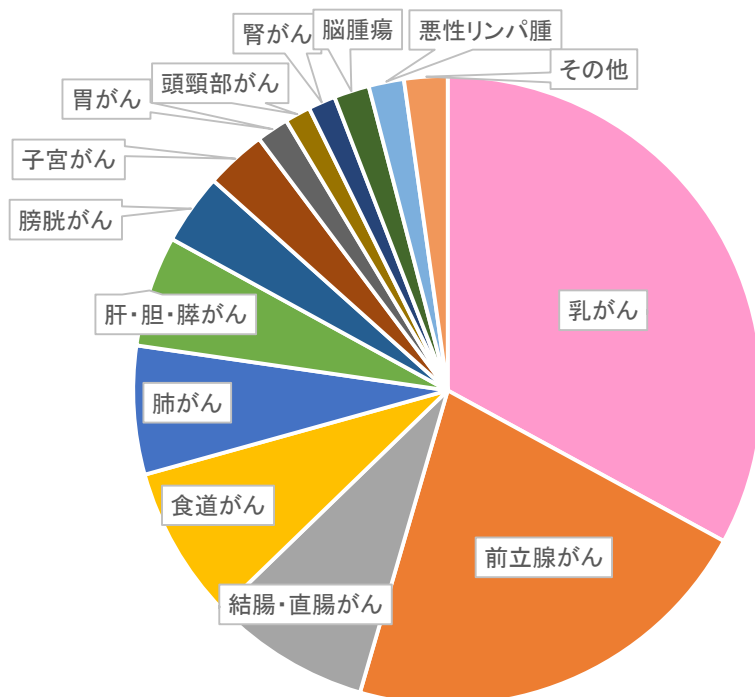
放射線治療センターは、2019年7月に新規開設から丸7年を迎えました。この間に治療症例数は順調に増加し、2019年10月末で新患数1,241例となりました。これもひとえに地域の関連医療機関からのご協力のお蔭であり、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。放射線治療については、治療装置の進歩に伴い、より高精度な照射ができるようになり、以前より病巣部に的確に照射することができるようになりました。これにより、患者さんに対してより効果的で、かつ身体に負担の少ない治療が実施できるようになりました。私どもの病院も、IMRT(強度変調放射線治療)などの最新の治療技術を適用して前立腺癌や直腸癌、子宮癌などの治療に応用しています。

スタッフ

加藤 大基 放射線治療科部長／放射線治療センター長
切通 智己 放射線治療科医長
山下 英臣 非常勤

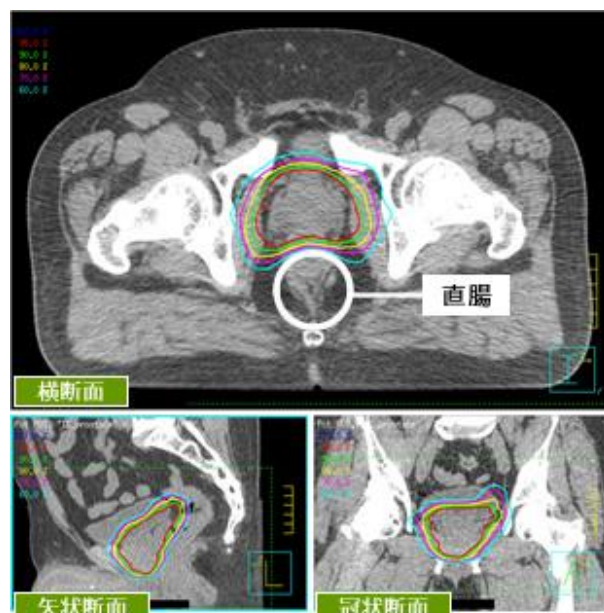
実績 (2012/7/23～2019/10/31)

	症例数
乳がん	399
前立腺がん	261
結腸・直腸がん	100
食道がん	96
肺がん	80
肝・胆・膵がん	69
膀胱がん	44
子宮がん	38
胃がん	20
頭頸部がん	16
腎がん	17
脳腫瘍	22
悪性リンパ腫	22
その他	57
合計	1,241



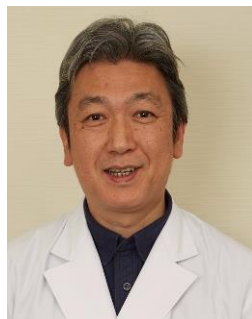
当院でVMAT法で治療した患者さんの実例

VMAT法は主として前立腺癌に対する根治的放射線治療法として実施しています。骨盤領域では直腸癌、肛門管癌、膀胱癌のほか、症例によっては肺癌や膵癌など、病巣が比較的限局していて周囲に重要臓器があり、通常の多門照射よりも線量分布において優位性があると思われる症例に適用範囲を広げています。



前立腺癌根治照射

前立腺および精嚢に放射線を集中させ、正常組織である直腸への線量を可及的に低減し、有害事象のリスク低減を図った。



川崎幸病院、さいわい鶴見病院、川崎幸クリニック、第二川崎幸クリニック、さいわい鹿島田クリニック、川崎クリニックで行われるCT(6台)・MRI(5台)の診断(診断報告書の作成)を行っています。MRIではDWIBS(体幹部DWI検査あるいは全身DWI検査などとも呼称されます)を行い、より低浸襲でより精度の高い検査を心がけております。CTでは基本的に3方向の画像を作成し、病変検出・性状診断に活用しております。造影検査や一般撮影の一部も診断しています。

スタッフ

伊藤 隆志	放射線診断科顧問	高柳 美樹	放射線診断科医長
守屋 信和	放射線診断科部長	高瀬 博康	放射線診断科医長
		西城 誠	放射線診断科医長
		青木 利夫	放射線診断科医長

オープン検査ご依頼件数推移

	2016年	2017年	2018年
MRI検査	2,573	2,742	2,608
CT検査	1,470	1,404	1,461
心臓CT検査	159	157	152
腹部・表在エコー検査	315	362	330

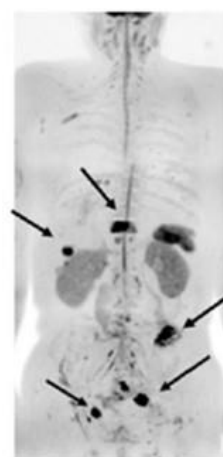
3.0テスラMRIを導入

川崎幸病院は2017年10月より最上位機種3.0テスラMRI(SIGNA TM Architect 3.0T)を導入し、1.5テスラMRIと3.0テスラMRIの2台で稼働しています。3.0テスラMRIは1.5テスラMRIに比べ、より詳細な評価が可能です。

PET-CTと比べた全身MRI(DWIBS)の利点

	DWIBS検査	PET-CT検査
診療ガイドライン	骨転移について掲載(推奨)されている(近年実用化されたので、実施できない施設が大多数)	掲載(推奨)されている
放射線被ばく	なし	あり PETとCTで二重被ばく
注射	なし	あり 注射してから1~2時間の安静
検査時間	30分~40分	30分~40分 遅延撮影すると更に長い 検査後は放射能が下がるまで待機30分程度
在院時間(受付~会計)	1.5時間程度	3時間程度
検査前食事制限	不要	必要 6時間
糖尿病患者	検査可	検査できない場合がある
診断精度	両者ほぼ同程度	
	腸管腸間膜病変は弱い	腸管病変は弱い
	肺結節・脾は弱い	肝がんは弱い
	MRI禁忌患者では不可	生理的集積による診断(尿路系がん:腎がん、尿管がん、前立腺がん、膀胱がんなどの)の障害
腫瘍体積	川崎幸病院では計算可	不明(他施設)
患者負担金(3割)	約8,000円	約28,000円

DWIBS画像



全身MRIは高性能MRIでないといけない検査です。
川崎幸病院のMRIは患者さんに優しい検査を行うことができます。



さいわい鶴見病院

病床数

60床



さいわい鶴見病院
院長
原 淳



神奈川県横浜市鶴見区豊岡町21-1
Tel 045-581-1417(代)

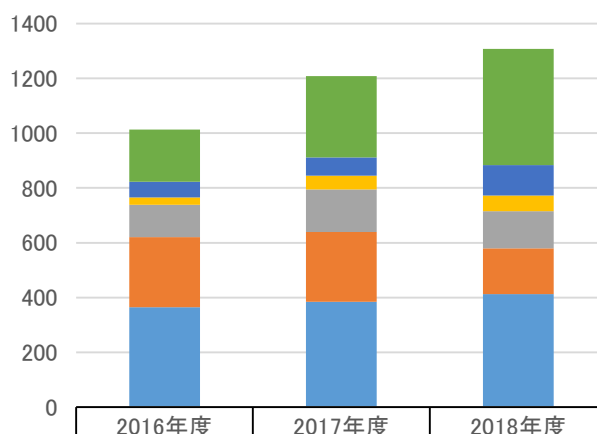
新年明けましておめでとうございます。
昨年11月1日、川崎幸病院の整形外科の当院への
移転と共に、院長に就任いたしました原と申します。
当院では、整形外科の患者さんと内科診療を主に
行っています。

そして、整形外科患者さんの多くに内科的な疾患が
ある方が多く、手術適応でも手術を行えない整形外
科単科の病院がある中で、当院は内科診療をしっ
かりと行っている中に整形外科部門が参入されまし
たので、様々な状況の患者さんが安心して治療を
受けて頂けると考えております。

ひとつひとつの疾患を丁寧に治療し、患者さんの健
康寿命の拡大に寄与できればと考えて診療を行っ
て参ります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

実績



	2016年度	2017年度	2018年度
■ 脊椎	190	298	425
■ 人工関節	57	66	110
■ HTO	27	50	58
■ 関節鏡／ACL	119	156	135
■ 股関節周辺骨折	255	255	167
■ その他	365	384	413

※川崎幸病院での実績

診療科

整形外科／関節外科／内科／糖尿病内科／循
環器内科／呼吸器内科／消化器内科／乳腺外
科／漢方外来／麻酔科

<https://tsurumihp.jp/>



手術室



MRI



川崎幸クリニック
院長
杉山 孝博

新年明けましておめでとうございます。
川崎幸クリニックは、1998年川崎幸病院の外来部門を独立させて設立されました。電子カルテ、完全予約制、全室個室の診察室、免震構造など、当時としては珍しい技術などを採用するとともに、地域医療の拠点として専門医療・在宅医療・検査機能の充実に取り組んできました。また、夕方診療・日曜祭日診療により365日切れ目のない診療体制をとっています。

2015年には、院内診療スペースが限界に達し、第二川崎幸クリニックを設立して機能的分離を行いました。2015年に地域医療部を設置して、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリに積極的に取り組んでいます。

そして、2019年5月より、これまで第二川崎幸クリニックで実施されておりました健康診断を本院で行っております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

<https://saiwaicl.jp/>

神奈川県川崎市幸区南幸町1-27-1
Tel 044-544-1020(代)

診療科

内科／呼吸器内科／神経内科／
腎臓内科／リウマチ科／内分泌・糖尿病内科
／心療内科／老年科／小児科／整形外科／
皮膚科／耳鼻咽喉科／



訪問診療



1階総合受付



6階受付



第二川崎幸クリニック
院長
関川 浩司

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

2015年7月に開院しまもなく5年、これまで外科系消化器系総合専門外来として地域の方々が安心できる医療を提供してまいりました。またがん化学療法室を中心とした各種相談外来、コーディネーターを配した日帰り手術センターもこれまで順調な運営を行って参りました。

昨年4月には心臓病センターの外来と呼吸器外科の外来の新設がなされこれまでの診療科に加え脳血管センター、大動脈センターに心臓病センターが加わる事により血管系専門外来としても、盤石な体制がなされました。‘和顔愛語 先意承問’を当院の基本精神としさらには財団の理念①断らない医療②患者主体の医療③地域に根ざし、地域に貢献する医療を大切にし職員が一丸となり、より良い医療の提供に邁進いたします。本年も皆様のご協力、ご支援を何卒宜しくお願いいたします。



<https://saiwaicl-2.jp/>

神奈川県川崎市幸区都町39-1
Tel044-511-1322(代)

診療科

消化器系総合診療科／消化器内科／外科・消化器外科／食道外科／呼吸器外科／心臓病センター（心臓外科／循環器内科）／脳神経外科／脳血管内治療科／川崎大動脈センター（心臓血管外科）／下肢静脈瘤センター（血管外科）／脊椎外来／形成外科・美容外科センター／プレストセンター（乳腺外科）／泌尿器科／婦人科／逆流性食道炎外科／減量外科／漢方外来／不眠外来

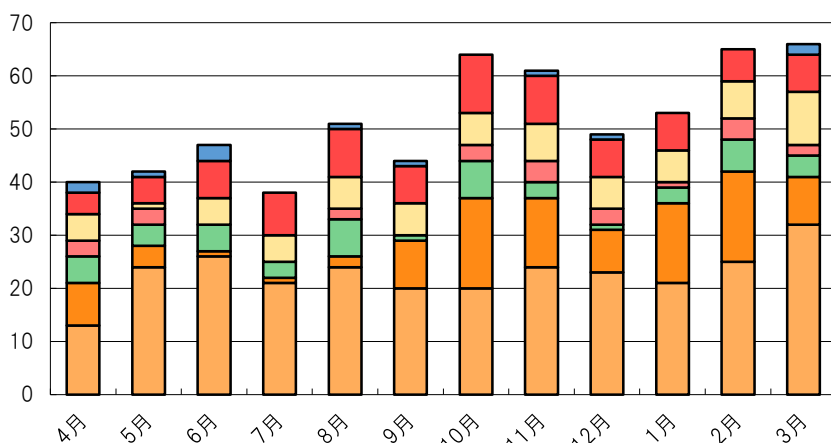


スタッフ



3階診察室

◆ 日帰り手術件数(科別) (2018年4月～2019年3月)



総手術件数620件

- 泌尿器科
- 婦人科
- 血管外科
- 乳腺外科
- 外科
- 形成外科レーザー治療
- 形成外科



川崎クリニック
院長
央戸 寛治

新年明けましておめでとうございます。

川崎クリニックは、昭和55年に川崎幸病院より外来透析センターとして独立、開設しました。平成25年3月には日進町ビルディングへ移転とともに一般外来9ブースを新設し、日本人の死亡原因第2位である動脈硬化疾患(心筋梗塞、脳血管疾患)の主要な原因である糖尿病、CKD(慢性腎臓病)の早期診断、早期治療を中心とし、腎臓内科、CAPD外来、糖尿病科、循環器内科、整形外科、足外来、皮膚科の専門外来を展開しています。

透析部門では、人工透析治療床148床、昼夕夜3シフトで現在約360名の血液透析及び40名のCAPD患者さんを外来治療しています。また、患者さんの『生活の質(Quality of Life)』を大切にすることをモットーとして技術水準の高い、身体的負担を可能な限り軽くする医療の提供を目指しています。

本年もよろしくお願い致します。

<http://www.sekishinkai.or.jp/kawacl/>

神奈川県川崎市川崎区日進町7-1
川崎日進ビル6階(外来)7,8階(透析)
Tel044-211-6500(透析)
Tel044-211-9259(外来)

診療科

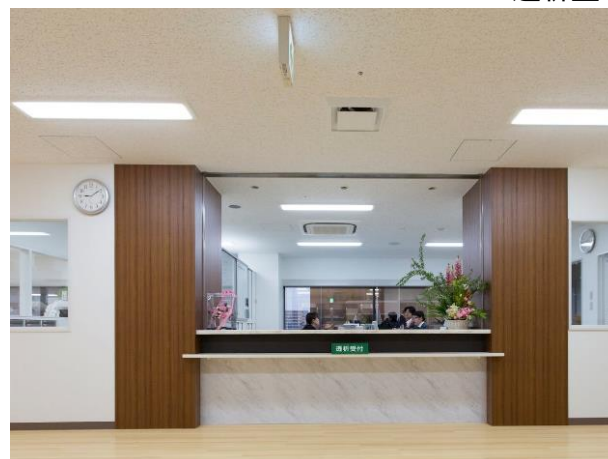
腎臓内科／内科／糖尿病内科／循環器内科／
整形外科／CAPD外来



透析室



外来受付



透析受付

❖さいわい鹿島田クリニック



さいわい鹿島田クリニック
院長
朝倉 裕士

新年明けましておめでとうございます。

さいわい鹿島田クリニックは、平成12年4月、幸区で唯一の外来透析施設として開設されました。平成16年1月には、「鹿島田」駅から直結する「ルリエ新川崎」に移転。移転後は、4階ワンフロアに透析部門を配置し、明るいスペースで透析治療をうけていただけるようになりました。また、同時に外来部門もオープンし、腎臓内科、内科、消化器内科、循環器内科、婦人科、乳腺外来、泌尿器科、検診部門と医療の幅をさらに広げ、地域の方々に密着した医療に貢献できるよう努めてまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

<http://www.sekishinkai.or.jp/kashicl/>

診療科

内科／消化器内科／循環器内科／腎臓内科／
泌尿器科／女性外来(婦人科)／乳腺外来／
人工透析センター



神奈川県川崎市幸区新塚越201
ルリエ新川崎3階・4階
TEL044-556-0011(透析)
TEL044-556-2720(外来)



透析室



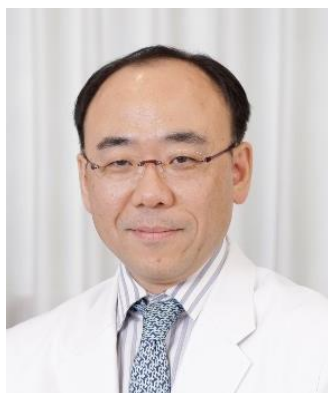
外来受付



総合待合



新緑脳神経外科 横浜サイバーナイフセンター



新緑脳神経外科
院長
太田 誠志

新年明けましておめでとうございます。

サイバーナイフを用いた定位放射線治療と内科、整形外科、脳神経外科を中心とする一般外来診療が当院の診療の中心です。

サイバーナイフは、ご依頼いただいてから可能な限り速やかに治療の計画を立て、治療を実施できるように心がけており、神奈川県内外の先生方よりご紹介いただいております。

外来診療においては、CT、1.5Tおよび3TMRI、超音波検査や各種生理検査など、緊急の検査にも対応しております。外来リハビリテーションにおいては、マッケンジー法を用いて、種々の疾患に伴う痛みのコントロールを柱のひとつとしております。また、外来リハビリテーション、訪問リハビリテーションを通じて、脳卒中などの維持期医療に貢献しています。本年もよろしくお願い申し上げます。

<http://www.syck.jp/>

診療科

脳神経外科／放射線治療科／整形外科／
内科／呼吸器内科／循環器内科／脳神経内科／
リハビリテーション科



神奈川県横浜市旭区市沢町574-1
Tel 045-355-3600(代)



MRI(3T)撮影室



1階待合



サイバーナイフ治療室



在宅医療・訪問看護・居宅介護

さいわい訪問看護ステーション

神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎6階

TEL044-556-4213

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/houmonkango/>

事業内容 訪問看護(24時間対応体制)

かしまだ地域包括支援センター

神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎6階

TEL044-540-3222

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/regional-center/>

事業内容

地域包括支援(川崎市委託事業)、介護予防ケアマネジメント事業

新川崎居宅介護支援事業所

神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎6階

TEL044-522-6307

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/shinkawasaki/>

事業内容 居宅介護支援

福祉用具レンタルさいわい

神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎6階

TEL044-522-6312

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/rental-saiwai/>

事業内容 福祉用具貸与・特定福祉用具販売



患者さんのご紹介について

川崎幸病院は外来分離しています

川崎幸病院は急性期機能をより強化充実するため、専門外来を川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニックとして分離独立しています。また外来透析・専門外来施設は、さいわい鹿島田クリニック・川崎クリニックがごさいます。診療予約がとりにくい場合やご不明な点がございましたら、川崎幸病院地域医療連携室までご連絡ください。



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院



緊急性のある患者さんのご紹介

救急患者さんのご紹介・オープン検査予約

TEL: 044-544-4611 (代表) (24時間対応)

TEL: 044-544-4638 (連携室直通)



医療法人社団 新東京石心会

さいわい鶴見病院

TEL: 045-581-1417



社会医療法人財団 石心会

川崎幸クリニック

社会医療法人財団 石心会

第二川崎幸クリニック

共通予約センター

TEL: 044-511-2112



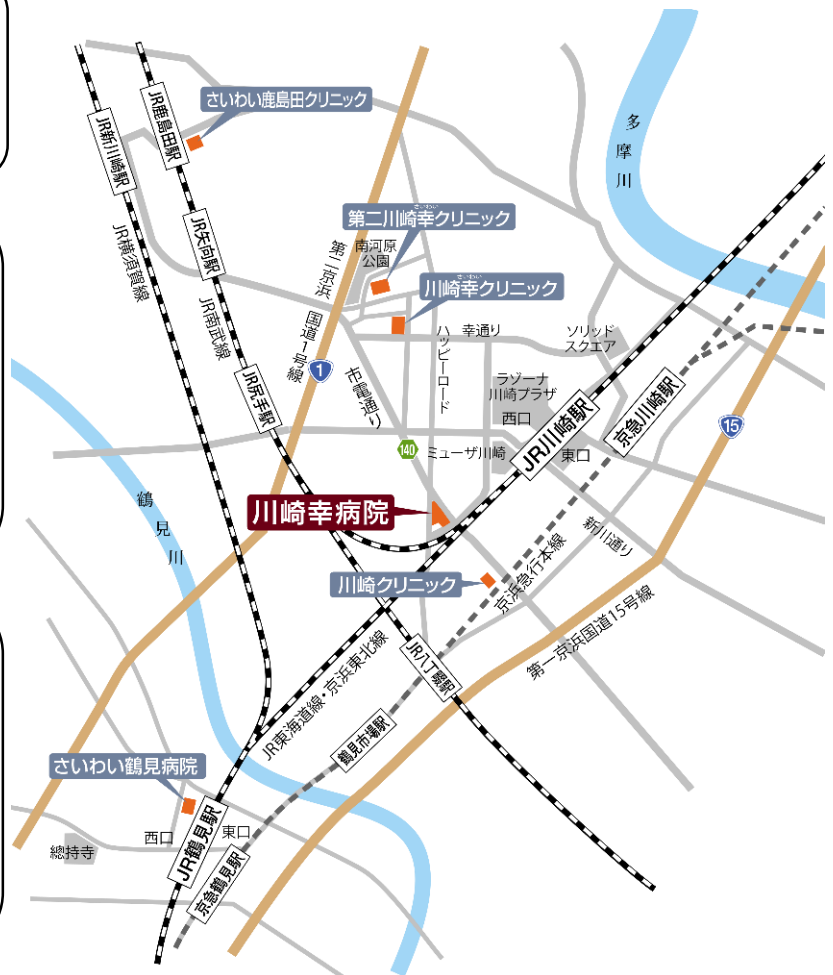
社会医療法人財団 石心会

川崎クリニック

TEL: 044-222-9259

さいわい鹿島田クリニック

TEL: 044-556-2722



医療法人社団 東京石心会

新緑脳神経外科

横浜サイバーナイフセンター

TEL: 045-355-3600 (代表)

TEL: 045-555-7333

(サイバーナイフセンター)

広域地図

